

## FIFA ワールドカップ 2026

2026 年 6 月 30 日（火）日本 vs ブラジル 戦

### 観戦実態に関する調査

試合評価は 10 点満点中平均 7.26 点。敗戦の結果となるが、約半数（49.7%）が

「8 点以上」の高スコアを採点し、強豪国ブラジル相手に対する善戦に高い評価

観戦者が選ぶ MVP は鈴木彩艶選手が選出される（32.6%）

調査実施：株式会社ネオマーケティング | 2026 年 6 月実施 | 全国 20 歳～79 歳の男女 1,123 名

#### 【調査のファインディングス（要点まとめ）】

- ・試合評価の平均点は 7.26 点（10 点満点）。約半数（49.7%）が「8 点以上」をつけ、ブラジル相手の善戦に高い評価がされました。
- ・観戦者が選ぶ MVP は鈴木彩艶選手（32.6%）。印象的なシーンには「佐野の先制弾」や「守護神の好セーブ」の声が多く上がりました。
- ・2026 年アメリカ・カナダ・メキシコ大会からの視聴開始層は、観戦者全体の内 10.1%となりました。2002 年日韓大会以前から継続して観戦・応援している割合が 62.7%となり、長期的な観戦者が多い結果となりました。

#### 【調査概要】

調査の方法：株式会社ネオマーケティングが運営するアンケートシステムを利用した WEB アンケート

方式で実施

調査の対象：全国の 20 歳～79 歳男女

有効回答数：1,123 名

調査実施日：2026 年 6 月 30 日（火）～2026 年 7 月 1 日（水）

調査実施機関：株式会社ネオマーケティング（東証スタンダード上場）

#### 【調査結果サマリー】

「深夜の放送にも関わらず視聴者の内、24.6%がテレビでリアルタイム視聴。一方で SNS 観戦も録画視聴・見逃し配信観戦と同スコアの 4.1%に」

#### 観戦・応援方法（回答率順）

※回答者=全員（n=1,123、単一回答）

テレビのリアルタイム中継で視聴した	24.6%
SNS や速報アプリで試合の状況を確認した	4.1%

テレビの録画・見逃し配信で視聴した	4.1%
DAZN のライブ配信で視聴した	1.4%
パブリックビューイング・スポーツバー等で視聴した	0.2%
観戦・応援はしなかった	65.6%

「今回大会から視聴している割合は 10.1%。2002 年日韓大会から観戦・応援している割合は 26.9%で最多。」

#### サッカー日本代表の観戦歴（回答率順）（上位 5 項目）

※回答者=観戦をした人（n=386、単一回答）

2002 年日本・韓国大会	26.9%
1998 年フランス大会	18.7%
2026 年アメリカ・カナダ・メキシコ大会	10.1%
2022 年カタール大会	9.8%
1994 年アメリカ大会 / 2010 年南アフリカ大会	5.4%

「試合の平均評価は 7.26 点。49.7%が 8 点以上の高評価」

#### 試合評価（10 点満点）

※回答者=観戦をした人（n=386、単一回答）

全体の 49.7%が 8 点以上の高評価を付けています。

特に、「8 点」が 24.1%と最も多いボリュームゾーンとなっており、「8 点以上」の累計は 49.7%と約半数にのびりました。

世界屈指の強豪国であるブラジルを相手に、多くの視聴者が日本代表のパフォーマンスに満足したことが伺えます。

「佐野海舟の鮮烈先制ゴールに歓喜！中盤のボール奪取から独走ミドルに「痺れた」の声が続出」

#### 印象に残ったシーン・プレー

※回答者=観戦をした人（n=386、単一回答）

##### ・佐野海舟選手の先制ゴールと高いパフォーマンス

最も多くの回答を集めたのが佐野海舟選手のプレーです。特に「中盤でのパスカット（インターセプト）から自らドリブルで持ち込んで決めたミドルシュート」に痺れた、感動したという声が多く見られます。

「前半に佐野海舟選手が中盤でボールを奪ってそのままシュートに持ち込み決めたシーン」

「佐野海舟選手のパスカットからドリブルしてシュートまでのシーンに感動した」

「佐野海舟の相手のボールを回収して、一人でドリブルしてゴールを獲ったこと」

### ・鈴木彩艶（ザイオン）選手のスーパーセーブ連発

ブラジルの猛攻に対し、何度も決定的なピンチを防いだ鈴木彩艶選手のセービングが高く評価されています。

「鈴木彩艶選手のスーパーセーブ」

「ゴールキーパーの鈴木選手は2失点を喫したものの決定的なピンチを何度も防いだ、日本代表の守護神の役目をきちんと果たしていて頼もしかった」

### ・チームの献身性

チーム一丸となって戦う姿勢に感動したという声が目立ちました。

「堂安の献身的な守備が良かった」

「富安選手が、ヴィニシウス・ジュニオールを完全に抑えていたこと」

「負傷者が多い中素晴らしい戦いができたことは選手層が厚いことだと思います」

その他にも、田中碧選手の涙に対する共感の声や善戦を認めつつも「世界との距離」を実感したといった声も見られました。

## 「ファンが選ぶ MVP は鈴木彩艶選手！ 32.6%が支持」

### あなたが選ぶ MVP（回答率順）（上位5名）

※回答者=観戦をした人（n=386、単一回答）

【GK】 鈴木 彩艶	32.6%
【MF】 佐野 海舟	26.7%
【監督】 森保 一	12.4%
【MF】 堂安 律	5.7%
【MF】 前田 大然	4.7%

### 【調査背景】

サッカー日本代表の国際試合は、SNS や動画配信の普及により、試合終了直後から生活者の関心と話題が一気に高まる傾向にあります。特に FIFA ワールドカップのような国際大会では、試合の結果や選手のプレーに対する評価が国民的な関心事となり、幅広い世代にわたって観戦・応援スタイルも多様化しています。

こうした背景から、株式会社ネオマーケティングは、日本代表戦の観戦実態や試合評価に関する調査を実施しました。全国の20歳～79歳の男女を対象に、試合直後のリアルな声を収集・分析することで、スポーツ観戦をめぐる生活者意識の現在地を明らかにします。

■この調査で使用した調査サービスはコチラ

ネットリサーチ：<https://corp.neo-m.jp/service/research/quantitation/netresearch-domestic/>

PRESS RELEASE

2026.7.2



■引用・転載時のクレジット表記のお願い

※本リリースの引用・転載は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。

<例>「生活者を中心にしたマーケティング支援事業を提供する株式会社ネオマーケティングが実施した調査結果によると……」

引用元：[https://corp.neo-m.jp/report/investigation/sports\\_014\\_soccer-wc2026-japan-vs-brazil](https://corp.neo-m.jp/report/investigation/sports_014_soccer-wc2026-japan-vs-brazil)

データ引用に関する詳細なガイドラインについては[リクエストフォームページ](#)に記載の「本ウェブサイトコンテンツに関するガイドライン」をご確認ください。

■「ネオマーケティング」

URL：<https://corp.neo-m.jp/>

加盟団体：一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会（会員社 No：20220）